

### 第3回南高教養アップ講座

講師 九州工業大学高大接続・教育連携機構 安永 卓生 教授

演題 「社会が求める主体性、協同的な学びができる学生

ーなぜ九工大で総合型選抜を実施するのかー」

【要旨】 AI 技術を始めとして技術革新が続き、社会が大きく変わっていく中で「主体的で協同的な深い学び」の力を身につけることを目指した「学び」の改革が高校、大学で進められています。世界・日本で活躍するエンジニアの養成を掲げる九工大でも、そうした学生を養成するために、大学教育自身が変わると共に、新たな総合型選抜(AO 入試)を導入し始めています。本テーマでは、「九工大の総合型選抜(AO 入試)」で行った活動や今後の予定等を例に挙げ、実践してもらいながら、どのようなスキルが問われているのかを明らかにしていきます。

#### 【生徒の感想】

- AO 入試などで求められている人材がどのようなものなのかを理解することができました。グループワークではアイデアを出すことは大事ですが、足りない部分を補い合うことがとても大事なことだと分かりました。
- 授業では先生から教えてもらったことをインプットするだけだけど、グループで話し合うことでアウトプットできて、グループワークの重要性が良く分かりました。班の中で発言することで、皆に自分の意見を聞いてもらってより考えを深めることができました。今後、グループワークをする機会があれば今日の経験を活かしたいと思います。
- 実際にグループワークを実施して、グループワークの全体的な雰囲気を感じることができました。実際に行ってみると、思ったよりも時間がシビアで焦ったりしてなかなか考えが思い浮かばなかったりと、とても難しいと思いました。自分の考えを伝えるというのは、日々の生活の中でも鍛えることができると思うので、日頃からこのような活動を意識して生活したいと思いました。
- 単純なグループ課題でも深く突き詰めていくと、意外と難しく感じました。グループで活動することによって、自分一人の思考をメンバーがさらに発展させてくれたり、メンバーの意見を聞いて新たなアイデアが生まれたりと、社会で働く上でとても大切なことを学ぶことができました。
- まわりの意見から自分の考えを広げることを体験できました。私は頭が固いため、これまでは一つのことを考えるとどうしてもそれ以外に広げることがなかなかできませんでした。ですが今回の活動では、一つのテーマや他の人が出した意見から考えを広げることができ、新しい観点から物事を見ることができました。まわりの人は自分では思いつかないことを思いつくので、コミュニケーションから得られるものは多いと思いました。
- これから求められる主体性が如何に大切なのが、グループワークをとおして理解できました。一つの物事を様々な角度から見てアイデアを次々に挙げていき、それだけでなく出てきたアイデア同士の関係性、そしてそれらを離れた目で見て何が分か

るのかといった、ただ考えるのではなくそこから矢印をどうつなげていくのか、というのがこれからの社会で必要とされている人間性なんだなと強く感じました。まずは、自分から積極的に発言をし、それを文章としておこす、まとめることをして行って、主体性、協働性を身につけていきたいです。

○今日のようなグループワークは初めてだったので、グループワークがどのような活動で、どういった手順で行われるのかを知るいい機会になったと思います。また、大学側が求める人物像も知ることができました。いろいろなものに興味をもち、それを個人で調べることはよくしますが、周りとの意見の共有や独学で得たものをアウトプットする機会はこれまでほとんどありませんでした。まだ今回のような活動に慣れていないので、これから大学、社会が求める人材に成長していきたいと思いました。